

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	国語・現代文B		単位数	2	単位	履修学年	3	年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな文章を読み、ものの見方、考え方を一層深め、自ら進んで表現したり、読書したりすることによって人生を豊かにする態度を身につける。 ・文章を書く力を身につける。 							
使用教材	<p>【教科書】新編現代文B改訂版（大修館）</p> <p>【副教材】新訂国語図説四訂版（京都書房）／国語辞典第十一版（旺文社）</p>							
評価の観点・評価規準	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解			
	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉に関心を持ち、適切に使い、進んで理解しようとしているか。 ・分からないことや知らないことについて、進んで学習しようとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを筋道立てて話すことができるか。 ・相手のことを考えて、わかりやすく話すことができるか。 ・相手の話を的確に聞き取って、要旨をとらえることができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをまとめたり深めたりしながら、筋道立てて適切に文章を書くことができるか。 ・目的や課題に応じた文章を的確に表現することができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな文章を読むことを通じて、人間、社会、自然などについて自分の考えを深める姿勢ができているか。 				
評価方法	<p>目標を踏まえ、「関心・意欲・態度」、「話す・聞く能力」は、日々の授業への取り組みを中心に、「書く能力」「読む能力」「知識・理解」は、定期考査を中心に評価し、提出物の状況や小テストへの取り組み等、総合的に判断して最終的に評価する。</p>							
学 期	学 習 内 容			学 習 の ね ら い				
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・評論分野より数篇 ・小説分野より数篇 			<ul style="list-style-type: none"> ・論理の展開をたどりながら、さまざまなテーマについての知識や考え方を深める。 ・文章を通じて、人生のあり方について考える。 				
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・こころ ・評論分野より数篇 ・小論文 			<ul style="list-style-type: none"> ・文学的な文章について、人物、情景、心情などを的確にとらえ、表現を味わう。 ・論理の展開をたどりながら、さまざまなテーマについての知識や考え方を深める。 ・小論文の書き方を学ぶ。さまざまな時事問題について学び、小論文を書く 				
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・評論分野より数篇 ・小説分野より数篇 ・小論文 			<ul style="list-style-type: none"> ・論理の展開をたどりながら、さまざまなテーマについての知識や考え方を深める。 ・文章を通じて、人生のあり方について考える。 ・小論文の書き方を学ぶ。さまざまな時事問題について学び、小論文を書く。 				
学習上の留意点								

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	数学・【学】 数学研究	単位数	2	単位	履修学年	3	年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 整式の割り算、分数式、複素数および2次方程式の基本的な計算ができる。 ・ 方程式を用いて図形を表現することができる。 ・ 指数、対数および微分、積分の概念を理解し、計算することができる。 ・ ベクトルについての様々な知識を習得し、それらを活用することができる。 ・ 数列の規則性より、一般項やその和を求めることができる。 						
使用教材	<p>【教科書】改訂版 最新 数学B (数研出版) 【副教材】基本と演習 テーマ数学Ⅱ+B (数研出版)、自主教材 (プリント)</p>						
評価の観点 ・ 評価規準	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解			
	数学的活動を通して数式や図形、指数関数、微分積分、ベクトル、数列における考え方に興味をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に進んで活用しようとする。	数学的活動を通して数式や図形、指数関数、微分積分、ベクトル、数列における数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ、論理的に考え、とともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。	数式や図形、指数関数、微分積分、ベクトル、数列において、事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、よりよく問題を解決する。	数式や図形、指数関数、微分積分、ベクトル、数列における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身に付けている。			
評価方法	「関心、意欲、態度」については、授業に取り組む態度や発表などによる評価と、提出物などの内容を総合的に判断し評価する。「数学的な見方や考え方」、「表現・処理」、「知識、理解」については、定期考査や課題テスト、日常の授業の取り組みなどを総合的に判断し評価する。						
学 期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い					
1 学期	ベクトル (平面) ・ ベクトルの和、差、実数倍、成分表示、内積 ベクトル (空間) ・ ベクトルの和、差、実数倍、成分表示、内積 ・ ベクトルの図形への応用、ベクトル方程式 数列 ・ 等差、等比数列の一般項とその和 ・ いろいろな数列の和、和と一般項 ・ 階差数列、漸化式、数学的帰納法	<ul style="list-style-type: none"> ・ ベクトルの和・差・実数倍や、内積について学習する。 ・ これまでに学んだ内容を図形に応用し、様々な問題のベクトルでの表現を学習する。 ・ 平面におけるベクトルの概念を利用し、空間におけるベクトルについて深く学習する。 ・ 規則的な数列に関する定理、公式を学習し、それを応用し一般式を導出することができる ・ 数学的帰納法の考え方を理解し、証明に応用する。 					
2 学期	指数関数、対数関数 ・ 指数法則、対数、対数の性質、常用対数 微分方と積分法 ・ 平均変化率と微分係数、導関数、微分法の計算、関数の増減、極大、極小、不定積分、定積分、定積分と面積	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指数、対数の計算を自由に行うことができるようになる。 ・ 常用対数の意味を理解する。 ・ 微分積分の概念を理解し、計算を行うことができるようになる。 ・ 定積分と面積の関係を理解し、応用できる。 					
3 学期	・ 数学ⅡBの総合問題	・ 応用問題にも取り組む。					
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予習・復習をしっかりとし、日々の授業を大切にすること。 ・ 与えられた課題は、提出期日を守り必ず提出すること。 ・ 分からないところは、そのままにせず、必ず質問すること。 						

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	外国語（英語）・応用英語（学）	単位数	2	単位	履修学年	3	年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・英文法やリスニング問題の演習を通して、適切な言語運用の知識を身に付ける。 ・幅広い話題の英文を読み聞きし、内容の理解・整理をし、自分の言葉で表現できる力を養う。 						
使用教材	【副教材】トランスファー英語総合問題演習コースB（桐原書店）、自主教材						
評価の観点・評価規準	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解			
	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	幅広い話題について、情報や考えなど伝えたいことを整理して英語で話したり、書いたりして表現する。	幅広い話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとするのを整理して理解する。	幅広い話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともに、その背景にある文化などを理解している。			
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に言語活動に取り組んでいるか（関心・意欲・態度） ・幅広い話題について意見・情報を整理・表現できるか（表現の能力） ・幅広い話題の英文を読んだり聞いたりして整理・理解できるか（理解の能力） ・言語運用の知識を身に付け、背景にある文化等を理解しているか（知識・理解） 以上4つの観点を、普通の授業・提出物、定期考査、各種テスト等で確認し総合的に評価します。						
学 期	学 習 内 容			学 習 の ね ら い			
1 学期	長文読解練習 Unit 1 動詞の時制 Unit 2 完了 Unit 3 助動詞 Unit 4 受動態 Unit 5 不定詞・動名詞①			より難解な長文読解を通して、英文を理解し表現するために必要な文法事項を整理し学習します。さらにより高いレベルのリスニング問題に取り組み、聞く力を養います。 また、多様な英文に触れ、学習した文法事項の確認と英文読解力や語彙力の向上を図るとともに、整理・理解のスピードを高め、表現へとつなげます。			
	長文読解練習 Unit 6 不定詞・動名詞② Unit 7 分詞 Unit 8 関係詞① Unit 9 関係詞② Unit 10 比較						
	長文読解練習 Unit 11 さまざまな文型 Unit 12 間接疑問 Unit 13 接続詞 Unit 14 代名詞 Unit 15 前置詞						
習 留 の 意 点	英文を読み解くために必要な語彙力や文法の知識を身に付け、英文を速く正確に読み聞きする力を養います。そのためには日々の予習・復習、授業に対して積極的かつ継続的に取り組む態度が必要です。						

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	芸術・音楽Ⅲ	単位数	2	単位	履修年次	3	年
目 標	芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好し、自分や周りの人達の楽しみ、癒しになる音楽の基礎を学ぶ。 ジャンルを問わず、世界の様々な音楽に数多く触れ感性を磨く。						
使用教材	【教科書】 Joy of Music (教育芸術社) 【副教材】 音楽通論 (教育芸術社)						
評価の観点・評価規準	関心・意欲・態度	芸術的な感受や表現の工夫	創造的な表現の技能	鑑賞の能力			
	音楽を愛好し、音や音楽に関心を持ち、意欲的、主体的に音楽活動を行いその喜びを味わおうとする。	感性を働かせて、音楽の諸要素を把握し、良さや美しさを感じ、創造的な音楽活動をする。	自己のイメージを持ち、創造的な表現をするための技能を身につける。	多様な音楽を理解し、その良さや美しさを創造的に味わう。			
評価方法	目標を踏まえ、音楽Ⅰに対する「関心・意欲・態度」と「芸術的な感受や表現の工夫」、「創造的な表現の技能」、については、日々の授業を中心に評価を行います。「鑑賞の能力」については試験をもとに評価します。具体的には、日々の授業態度、練習の成果、提出物、実技テスト、小テスト等をもとに、総合的に判断し評価します。						
学 期	学 習 内 容			学 習 の ね ら い			
1 学期	ヴォイストレーニング (グループ) 歌唱			・喉の健康を損なわないで歌う技術や、話すために最低限必要な発声技術を習得します。 ・様々な時代やジャンルの歌を聴いて、その中から各自選曲して、自己表現に相応しい演奏形態を考えます。			
2 学期	器楽(各自選んだ楽器…授業で学習した楽器以外でも可) 鑑賞			・自己表現にふさわしい楽器を選び、その技術を習得します。 ・ソロ、アンサンブル等の演奏活動を通して幅広い音楽表現を目指します。 ・日本はもとより、世界の様々な音楽に触れ感性を磨きます。			
3 学期	ヴォイストレーニング (グループ、ソロ) 歌唱・器楽 (ソロ アンサンブル等) 音楽理論(音楽療法領域を含む) 鑑賞			・喉の健康を損なわないで歌う技術や、話すために最低限必要な発声技術を習得します。 ・各自が最も自己表現にふさわしいと思う曲や楽器を選び、その演奏技術を磨きます。 ・音楽理論に関する知識や技術を習得します。 ・日頃聴き慣れたジャンル以外のさまざまな曲にも触れ、感性を磨きます。			
学習上の留意点	・個人やグループなど、その時々授業内容で取り組み方がかわります。 ・忘れ物や遅刻、欠席は授業の進行の妨げになる事があります。各自しっかりと意識で授業に臨んでください。						

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	芸術・美術Ⅲ	単位数 2	単位	履修学年 3年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・課題作品の制作を通して、ものを見るための感性を伸ばし、深く物事を観察する力や想像力を身につける。 ・表現力をより一層伸ばすと共に、美術についての理解を深め、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てる。 			
使用教材	<p>【教科書】 高校美術3 (日本文教出版)</p> <p>【副教材】 クロッキーブック、自主教材</p>			
評価の観点・評価規準	関心・意欲・態度	発想力・創意工夫	表現技術	知識・理解
	制作課題のテーマに関心を持ち、内容的に正確に把握している。芸術的な創作活動に積極的に取り組んでいる。	課題作品のテーマやその表現方法を芸術的な感性により、独創性のある世界を構築している。	課題作品の制作において、道具や材料の特性を工夫しながら、自分の表現を実現している。	作品を鑑賞する態度と制作技法を理解し自己作品と比較検討ができる。
評価方法	<p>目標を踏まえ、美術Ⅲに対する「関心・意欲・態度」については、日々の授業を中心に評価を行い、「発想力・創意工夫」「表現技術」「知識・理解」は、提出作品を中心に評価を行います。具体的には、日々の授業態度、提出物の状況(完成度、技術、対象物の理解度、発想力)等をもとに総合的に判断し評価します。</p>			
学 期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い		
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・クロッキー ・鉛筆・木炭デッサン(静物、石膏像) 	<ul style="list-style-type: none"> ・人物クロッキーを行い、基本的なデッサン力を身に付けます。 ・与えられたモチーフをデッサンの技法を理解し、形態、陰影、空間、質感等を、工夫しながら表現します。 		
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・着彩(絵画的表現) ・デザイン作品の制作 	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられたモチーフを絵の具の特性を知り、工夫しながら表現します。また、写実的にだけでなく自分なりの個性を表現します。 ・与えられた課題を自らイメージや、材料の使い方等の工夫により、表現するだけでなく、ニーズを考慮に入れながら、アイデアを出す思考を養います。 		
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・立体構成作品の制作 ・作品鑑賞 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らイメージしたものを、与えられた材料を基に立体的な造形作品に仕上げます。イメージする力を身につけ、材料の使い方の工夫により、立体的な造形ができるようにします。 ・鑑賞力を身につけ、感性を高め、美術文化について理解を深め、個性豊かな能力を高めます。 		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の作品の完成度を追及するには、授業中の集中力が必要です。 ・制作に必要な道具や材料を事前に準備する計画性が必要です。 ・課題作品の提出期限は必ず守ってください。 			

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	芸術・書道Ⅲ	単位数	2	単位	履修年次	3	年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・書道のより深い活動をとおして、書の文化への関心を高め、生涯のわたって芸術を愛好する心情を養う。 ・作品制作をとおして、主体的に自己を表現し、感じ取る力や思考する力を一層豊かにする。 						
使用教材	【教科書】 書Ⅲ (教育図書) 【副教材】 応用ペン習字 (教育図書)						
評価の観点 ・評価規準	関心・意欲・態度	芸術的な感受や表現の工夫	創造的な表現の技能	鑑賞の能力			
	書への関心をもち、意欲的・主体的に取り組んでいるかどうか。	感性を豊かにし書のよさや美しさを感じとり、表現の工夫がなされているかどうか。	主体的に取り組み、個性を豊かにし、基本的な技能を身につけようとしているかどうか。	芸術を幅広く理解し、そのよさや美しさを味わい、自らの感想を述べるができるかどうか。			
評価方法	目標を踏まえ、書道Ⅲに対する「関心・意欲・態度」と「芸術的な感受や表現の工夫」、「鑑賞の能力」については、日々の授業を中心に評価を行う。「創造的な表現の技能」については作品や提出物をもとに評価します。具体的には、日々の授業態度、作品、鑑賞カード、創作ノート、レポート等をもとに、総合的に判断し評価する。						
学 期	学 習 内 容			学 習 の ね ら い			
前期	漢字・仮名の書 ・自由選択古典の臨書 ・倣書創作作品制作 実用の書 ・ペン・小筆の基礎練習			・自分の好きな古典を臨書し、自己表現の技術を高め、古典の性情を理解する。 ・古典をもとに、自己の創作作品を仕上げる。			
後期	漢字仮名交じりの書 ・自由創作作品制作			・自らの思いや感動を表現する語句を選び、自己の意図やねらいを達成するために、表現の工夫をする。			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的、積極的に作品制作に取り組むこと。 ・それぞれの進路に応じて自ら取り組む課題を設定し、熱心に取り組むこと。 ・ペン字は、書写書道検定にも対応している。 ・大学実技受験には個別に指導する。 						

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	工業（機械科）・生産システム技術	単位数	2 単位	履修学年	3 年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生産に関わる計測、生産管理、品質管理について理解する。 ・ 電気の基礎、制御の種類や機構の基礎を理解する。 ・ 生産システムに関する電子回路、情報機器と電子部品について理解する。 				
使用教材	【教科書】生産システム技術（実教出版）				
評価の観点・評価規準	「関心・意欲・態度」	「思考・判断」	「技能・表現」	「知識・理解」	
	<p>生産システムに関する諸問題について関心をもち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組みるとともに、創造的実践的な態度を身につけている。</p>	<p>生産システムに関する諸問題の解決を目指して自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身につけている。</p>	<p>生産システムに関する基礎的・基本的な技術を身につけ、環境に配慮し、実際の仕事を合理的に計画し、適切に処理するとともに、その成果を的確に表現する。</p>	<p>生産システムに関する基礎的・基本的な知識を身につけ、現代社会における意義や役割を理解している。</p>	
評価方法	<p>目標を踏まえ、生産システム技術に対する「関心・意欲・態度」については、日々の授業を中心に評価を行い、「思考・判断」「技能・表現」「知識・理解」は、定期考査を中心に評価を行います。具体的には、日々の授業態度、提出物の状況、定期考査等をもとに総合的に判断し評価します。</p>				
学 期	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生産管理 生産設計 品質管理 ・ 電気基礎学習 オームの法則 キルヒホッフの法則 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 生産に関わる計測、生産計画、品質管理などの生産にかかわる事柄を学習します。 ・ 電気の基礎法則について学習します。 		
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電気基礎学習 直流回路 交流回路 ・ 情報機器と電子部品 パーソナルコンピューター 電子部品 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 電気の基礎である直流・交流について学習し、その法則に従った電気機器を理解します。 ・ 電子部品について、それぞれの特性、特徴を学習し、それを活かした機器について学習します。 		
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 制御技術 シーケンス回路 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 制御の基礎であるシーケンス制御について学習します。1・2年生の実習内容を思い出しながら学習すると、より効果的です。また、平行して3年生の実習で実技をします。 		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生産システム技術は、電気についての学習だけでなく、機械制御や生産、品質の学習を含んだ機械科の基礎・基本科目のひとつです。関心・意欲を持って取り組んでください。 ・ 電気の基礎においては、いろいろな場面で計算力や読解力が必要となります。授業では問題集を用い、それらの基礎についても学習します。 				

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	工業（電子機械）・電子情報技術	単位数	2 単位	履修年次	3 年
目 標	・コンピュータのソフトウェアおよびアルゴリズムに関する知識と技術を習得し、実際に活用する能力を養う。				
使用教材	【教科書】電子情報技術 新訂版（実教出版）				
評価の観点 ・評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	
	電子情報技術に興味や関心を持ち、意欲的にその原理・性質を理解しようとする。身近な事象に対しても探求しようとする。	電子情報技術の理論を式の変形や計算によって処理するための基礎的な知識や技術を適切に活用する。さまざまな装置及びシステムについて深く考えている。	電子情報の理論について式の変形や計算により適切かつ正確に処理する。電子情報技術を効果的に活用するための知識・技術を理解している。	さまざまな電子情報技術について、その相互の関係を含めて十分に理解している。現代社会における電子情報技術の意義や役割を理解している。	
評価方法	目標を踏まえ、電子情報技術に対する「関心・意欲・態度」については、日々の授業を中心に評価を行い、「思考・判断」「技能・表現」「知識・理解」は、定期考査を中心に評価を行います。具体的には、日々の授業態度、提出物の状況、定期考査等をもとに総合的に判断し評価します。				
学 期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の表し方の理解 ・コンピュータの電子回路の理解 ・コンピュータの機能と構成の理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常、我々が使っている 10 進数とコンピュータなどのデジタル機器における 2 進数、16 進数の扱い方の違いを理解する。また、コンピュータの各種演算に使われる論理回路やフリップフロップなどの基本回路の原理を理解します。 			
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの機能と構成の理解 ・制御プログラミングの理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの内部の構成及びデータの流れや処理の方法について理解を深める。さらに、システムを構成するための周辺装置について特徴や原理を理解します。 ・プログラムの言語や構造の基礎を理解し、制御用プログラムの作り方と応用の仕方を理解します。 			
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの利用とネットワークシステムの理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータを効率よく動作させるための OS、コンピュータの処理形態やネットワーク技術、コンピュータを利用したマルチメディアの利用技術を理解します。 			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・電子情報技術に関する用語の知識が必要となりますので、予習復習を行う必要があります。 ・2年次の「電子計測制御」で学んだことが基礎となります。 				

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	工業（建築デザイン科）・建築計画	単位数	2 単位	履修年次	3 年
目 標	・建築計画に関する基礎的な知識と技術を習得し、実際に活用する能力と態度を身につける。				
使用教材	【教科書】建築計画（実教出版） 【副教材】自主教材				
評価の観点 ・評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断	表現・能力	知識・理解	
	建築計画に関心を示し、その考え方や内容的に把握して取り組んでいるか。	建築計画に関する課題に対して、幅広く柔軟に考え、的確な判断、回答をすることができるか。	建築計画で学習した内容を略図や文章で的確に表現できるか。	建築計画に関する知識を十分理解できたか。建築計画の内容を他の教科に応用できる力がついたか。	
評価方法	目標を踏まえ、建築計画に対する「関心・意欲・態度」と「思考・判断」については日々の授業を中心に評価を行い、「技能・表現」と「知識・理解」は定期考査や提出物（ノート、プリント）を中心に評価を行います。具体的には、日々の授業態度、提出物の状況、5回の定期考査等を総合的に判断し評価します。				
学 期	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		
前期	1. 建築と環境 ・ 建築と環境の概要 ・ 屋外換気用と室内環境 ・ 換気と通風 ・ 伝熱と結露 ・ 日照と日射 ・ 採光と照明 ・ 色彩 ・ 音響		・ 建築計画の概念、室内空間、日常生活行動等から建築計画の内容や進め方について学習します。 ・ 建築計画（デザイン）において、形態、色彩、テクスチャー、空間などの造形要素が、人間の心理にどのように働きかけているかを学習します。		
後期	2. 住宅の計画 ・ 住宅の意義 ・ 住宅計画の進め方 ・ 全体計画 ・ 各部の計画 3. 建築設備の計画 ・ 建築設備の概要 ・ 給排水、空気調和、電気等の設備 ・ 防災、搬送の設備		・ 建築の原点である住宅について、建築計画に係わる専門知識について学習します。 ・ 現代の住宅の多様性、生活行為、またバリアフリーなどの視点から、暮らしやすい生活空間の計画について学びます。 ・ 建築物の内部における人間の生活について、安全面、快適さ、利便性、保守性など様々な観点から考え、それらを支える設備に関する知識を学習する。		
学習上の留意点	・教科書や配布したプリントあるいはノートを、忘れずに準備してください。 ・普段の授業を大切にしてください。また、提出物は期日までに必ず提出してください。				

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	農業（総合選択 B）・生物活用		単位数	2 単位	履修年次	3 年
目 標	身近な暮らしの場において植物の栽培や動物の飼育方法を学ぶ。そして、生物の活用における生活の質（QOL）の向上と健康の改善を図る。そのために、経済的生産に関する部分は除き、活用の効果と方法を学ぶ科目である。					
使用教材	【教科書】生物活用（実教出版）					
評価の観点・評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解		
	現状について学び、それらを活かそうとする開発力と態度を身につけている。	動植物の個性をとらえ、ときどきの状況に活かせることができる。	実習や講義を体験して工夫をこらしている。時間内に適切に表現できる。	園芸や動物の活用方法を理解している。		
評価方法	「関心・意欲・態度」と「思考・判断」、「技能・表現」、については、日々の授業を中心に評価を中心に評価を行います。「知識・理解」については定期考査をもとに評価します。具体的には、日々の授業態度、提出物、実技実習をもとに、総合的に判断し評価します。					
学 期	学 習 内 容			学 習 の ね ら い		
1 学期	□「園芸装飾」実習 1～2			国家園芸装飾技能士から指導をいただき、園芸装飾の技術向上を図る。		
2 学期	□生物活用の意義と役割 □生物を活用した療法 □園芸作物の栽培と活用			人と植物の関わりについて、歴史や現在までの活用の実際を学ぶ。		
3 学期	□「園芸装飾」実習 3～5 □動物の飼育と活用 □生物活用の実際			国家園芸装飾技能士から指導をいただき、園芸装飾の技術向上を図る。 人と動物の関わりを学び、飼育の方法や歴史を知り、愛玩動物の活用を研鑽する。		

学習上の 留意点	・副教材は購入しません。実習時には必要に応じてプリントを用意いたします。	

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	家庭・食品衛生	単位数 2 単位	履修年次 3 年	
			フードシステム科選択者	
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で衛生的な食生活の実現を担う職業人として、必要な知識を習得する。 ・安全で衛生的な食生活の実現を目指して自ら学び、食品衛生に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。 			
使用教材	【教科書】食品の安全と衛生 (公益財団法人 全国調理師養成施設協会)			
評価の観点・評価基準	意欲・関心・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	食品衛生に関心を持ち、進んで学習に取り組むことができる。食生活の安全と衛生に寄与しようとする意欲と態度を身につける。	食生活を安全で衛生的に行うために思考力を高め、適切に判断し実行する力を身につけている。	消毒や洗浄など食生活の安全と衛生に配慮して、器具や食材を扱うことができる。	食生活の安全と食品衛生対策などの食品衛生について理解している。
評価方法	目標を踏まえ、「関心・意欲・態度」については、日々の授業を中心に評価を行います。「思考・判断・表現」「技能」は、定期考査、実技テスト等、総合的に判断し評価します。			
学 期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い		
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○食の安全と衛生 <ul style="list-style-type: none"> ・食品衛生とは ・微生物の種類 等 ○食中毒 ① <ul style="list-style-type: none"> ・食中毒の概要 ・細菌性食中毒 	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活の安全性を確保することの重要性について理解する。 ・微生物の種類について理解する。 ・食中毒の特徴や症状、発生状況と感染源及び予防についての知識を習得する。 ・安全対策に関する知識を身につける。 		
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○安全対策 <ul style="list-style-type: none"> ・手洗い、洗浄・消毒・殺菌 ○食中毒 ② <ul style="list-style-type: none"> ・ウイルス性食中毒 ・自然毒、化学性食中毒 等 ○食物アレルギー <ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーの種類 ・アレルギー物質の表示 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・食中毒の特徴や症状、発生状況と感染源及び予防についての知識を習得する。 ・食物アレルギーの特徴、症状、発生状況と原因物質及び発症予防についての知識を習得する。 ・食品添加物の種類や使用方法について理解する。 ・食品への有害物質の混入や人体・環境への影響について理解する。 		
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○食品添加物 <ul style="list-style-type: none"> ・食品添加物の概要 ・食品添加物と食品衛生関係法規 ・主な食品添加物とその用途 等 ○食品安全対策 <ul style="list-style-type: none"> ・食品衛生法 ・自主衛生管理 HACCP 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・食品衛生関連の法律の目的と概要について理解する。 		
学習上の留意点				

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	商業・ビジネス実習		単位数	2 単位	履修年次	3 年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会や組織の仕組み、そこで働く者の姿勢や心構え、基礎的な事務処理能力などについて、秘書検定を題材にし、基本的な理論や技能を理解して身に付ける。 ・ ビジネスの諸活動を主体的、合理的に行い、経済社会の発展に寄与する能力と態度を養う。 					
使用教材	【副教材】教材として秘書検定2級・3級 集中講義（早稲田教育出版）					
評価の観点 ・ 評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解		
	企業の経営、経済活動に関する諸問題について関心をもち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともにビジネスの諸活動に適切に対応する実践的な態度を身につけている。	企業の経営、経済活動に関する諸問題の解決をめざして自ら思考を深め、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身につけている。	企業の経営、経済活動に関する基礎的・基本的な技術を身のつけ、ビジネスの諸活動を適切に処理するとともに、その成果を的確に表現する。	企業の経営、経済活動に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、経済社会の一員としての心構えを理解している。		
評価方法	目標を踏まえ、ビジネス演習に対する「関心・意欲・態度」については、日々の授業を中心に評価を行い、「思考・判断」「技能・表現」「知識・理解」は、定期考査を中心に評価を行います。具体的には、日々の授業態度、提出物の状況、定期考査等をもとに総合的に判断し評価します。					
学 期	学 習 内 容			学 習 の ね ら い		
1 学期	第1章 必要とされる資質 第2章 職務知識			<ul style="list-style-type: none"> ・ 秘書の心得から、社会人としてまた、職業人としての基礎的な業務や日常の対応について広く学ぶことにより、仕事に対する姿勢を身につける。 		
2 学期	第3章 一般知識 第4章 マナー・接遇			<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業における専門的な語句や社会常識について学ぶことにより、具体的に社会における対応を身につける。 ・ 社会人として、コミュニケーションのとりかたについて学ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 話し方や接遇の対応を学ぶことにより、実社会で戸惑わないように一般的なマナーを身につける。 		
3 学期	第5章 技能 1年間のまとめ <ul style="list-style-type: none"> ・ 秘書検定の受け方 ・ マークシート方式の答え方 			<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議の種類やビジネス文書の作成、保管等の技能を学ぶことにより、書類や日程管理を身につける。 ・ 1年間学習したことを復習し、社会人としての基礎的な対応を身につける。 ・ 今までの学習したことを振り返り、その実力を秘書検定に反映させるとともに、社会人としての知識や対応の理解度を確認する。 		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 服装を整え、マナーを守り礼儀正しく授業を受けましょう。 ・ この授業をとおして立派な社会人になるためのビジネスマナーを身に付けましょう。 ・ 日々の授業を大切にして、秘書実務検定の取得を目指しましょう。 					

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	農業・園芸福祉(学) ヒューマンサービス科 生活福祉コース	単位数 2 単位	履修年次 3 年	
目 標	園芸福祉に関する基本的な知識と技術を習得して、福祉分野での活用力と態度を培う。また、園芸作物の特性と管理の方法を学んで、教育・医療・福祉などの他分野との関わりを理解する。			
使用教材	【教科書】なし 【副教材】園芸療法 源草社			
評価の観点・評価規準	関心・意欲・態度 植物の新たな利用に関心を持ち、園芸福祉の知識や技術を取り入れようとする意欲を持ち、授業中の課題や作業に積極的に取り組む態度を身につけている。	思考・判断 園芸植物の特性を認識し、場面・用途における利用植物や用具を判断する能力を身につけている。	技能・表現 フラワーアレンジメントなどのデザインまたは創作する技能を身につけている。園芸作業の基本技術が身に付いている。	知識・理解 身体的効果・精神的効果・社会的効果を理解し、福祉分野での利用方法の知識を身につけ、私たちの生活の場との関わりを理解している。
	評価方法 目標を踏まえ、園芸福祉に対する「関心・意欲・態度」については、日々の授業を中心に評価を行い、「思考・判断」「表現・能力」「知識・理解」は、定期考査を中心に評価を行います。具体的には、日々の授業態度、提出物や課題の取り組み状況、定期考査、作業の取り組み等を総合的に判断して評価します。また、学習活動への自己評価も考慮します。			
学 期	学 習 内 容		学 習 の ね ら い	
1 学期	園芸療法と世界の現状 園芸福祉をはじめるにあたって 夏野菜栽培		<ul style="list-style-type: none"> ・園芸療法と園芸福祉について学び、対象者の違いと活動内容を理解する。 ・実際に活動するにあたっての心構えを理解する。 ・野菜栽培の技術を身につける。 	
2 学期	地域性を活かした園芸福祉のあり方 すぐに取り組める園芸福祉のいろいろ 秋まき1年草の栽培		<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民とともに、誰もが関わることができる園芸を活用した地域づくり方法を学ぶ。 ・園芸作物の多面的利用術を学び、地域に根ざした活用場面を探る。また場面を想定して活用方法を探る。 ・草花栽培の技術を身につける。 	
3 学期	園芸福祉の実践		<ul style="list-style-type: none"> ・草花栽培の経験を活かし、園芸福祉のプログラムを立案し、実践してみる。 	
学 習 上 の 留 意 点	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の一員として、一般社会に出てからの生活スタイルに生かせるよう、相互に積極的なコミュニケーションをはかること。 ・意欲を持って授業に取り組んでいるか、授業内容を理解し、適切に行動できるか、毎時間評価する。話をよく聞き、積極的に行動すること。 			

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	保健体育・スポーツ I	単位数	2 単位	履修年次	3 年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技の特性について理解し、課題の解決を目指して、計画的に運動することができる。 ・高度な技能と審判法を習得する。 ・指導者または、トップアスリートを目指すために必要な知識を身につける。 				
使用教材	【副教材】 最新スポーツルール (大修館)				
評価の観点・評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解	
	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任などの態度を身につけるとともに、健康、安全に留意して自ら積極的に運動をしようとする。	自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して、活動の方法を考え、工夫している。	自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行うとともに、運動の技能を高めている。また、自己の体力や生活に応じて体力を高めるための合理的な運動の行い方を身につけている。	各種目のルールや特性、基本技術を理解し、運動技能の構造と運動の学び方、記録を高めるための知識を身につけている。	
評価方法	授業への取り組み方を「関心・意欲・態度」、学習内容を高める為の工夫を「思考・判断」、運動の実技試験や授業中での技術発揮の様子を「運動の技能」、ルールの理解や練習方法の組立等を「知識・理解」として評価をし、それらを総合的に評価します。				
学 期	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		
1 学期	陸上競技 ○走運動 (短距離) ○跳運動 (走り幅跳び) ○投運動 (砲丸) 体育理論		歩、走、跳、投の人間の基礎的・基本的運動を競技として行うことで、合理的な運動の技術を身につけます。 指導者または、トップアスリートを目指すために必要な知識を学びます。		
2 学期	陸上競技 ○走運動 (ハードル走) ○跳運動 (三段跳び) ○投運動 (やり投げ) 体育理論		歩、走、跳、投の人間の基礎的・基本的運動を競技として行うことで、合理的な運動の技術を身につけます。 指導者または、トップアスリートを目指すために必要な知識を学びます。		
3 学期	陸上競技 ○走運動 (リレー競争) ○跳運動 (走り高跳び) ○投運動 (円盤投げ) 体育理論		歩、走、跳、投の人間の基礎的・基本的運動を競技として行うことで、合理的な運動の技術を身につけます。 指導者または、トップアスリートを目指すために必要な知識を学びます。		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時の怪我防止 (安全確保) の為、授業でのルール・指示を必ず守るようにしてください。 ・活動場所への集合を、時間厳守で行うことを指導します。 				

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	ビジネス演習	単位数	2	単位	履修年次	3	年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会や組織の仕組みやそこで働く人の姿勢と心構え、基礎的な事務処理能力などについての基本的な理論や技能を理解し、身につける。 ・ ビジネスの諸活動を主体的、合理的に行い、経済社会の発展に寄与する能力と態度を養う。 						
使用教材	【副教材】秘書検定3級 集中講義（早稲田教育出版） 3級クイックマスターなど						
評価の観点・評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解			
	企業の経営、経済活動に関する諸問題について関心をもち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともにビジネスの諸活動に適切に対応する実践的な態度を身につけている。	企業の経営、経済活動に関する諸問題の解決をめざして自ら思考を深め、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身につけている。	企業の経営、経済活動に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、ビジネスの諸活動を適切に処理するとともに、その成果を的確に表現できる。	企業の経営、経済活動に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、経済社会の一員としての心構えを理解している。			
評価方法	目標を踏まえ、ビジネス演習に対する「関心・意欲・態度」については、日々の授業を中心に評価を行い、「思考・判断」「表現・能力」「知識・理解」は、定期考査を中心に評価を行います。具体的には、日々の授業態度、提出物の状況、5回の定期考査、小テスト等を総合的に判断し評価します。						
学 期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い					
1 学期	第1章 必要とされる資質 第2章 職務知識	<ul style="list-style-type: none"> ・ 秘書の心得から、社会人や職業人としての基礎的な業務や日常の対応について広く学ぶことにより、仕事に対する姿勢を身につける。 ・ 企業における専門的な語句や社会常識について学ぶことにより、具体的に社会における対応を身につける。 					
2 学期	第3章 一般知識 第4章 マナー・接遇	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会人としてのコミュニケーションのとり方について学ぶ。 ・ 話し方や接遇の対応を学ぶことで、実社会で戸惑わない一般的なマナーを身につける。 ・ 会議の種類やビジネス文書の作成、保管等の技能を学ぶことにより、書類や日程管理を身につける。 					
3 学期	第5章 技能 1年間のまとめ <ul style="list-style-type: none"> ・ 秘書検定の受け方 ・ マークシート方式の答え方 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年間学習したことを復習し、社会人としての基礎的な対応を身につける。 ・ 今までの学習したことを振り返り、その実力を秘書検定に反映させるとともに、社会人としての知識や対応の理解度を確認する。 					
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ マナーの基本は挨拶です。起立・礼・着席から始まり、起立・礼で授業が終わるまできちんと授業を受けましょう。 ・ 欠席や遅刻をしないように心掛けてください。 ・ 社会生活と同様、「話（指示）を聞く」、「話（指示）を理解する」、「話（指示）を実践する」の3点を心がけてください。 ・ 秘書実務検定にも対応できるように検定前には検定対策も実施します。 						